

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター きっずサポートてんま			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 10日 ~ 2025年 12月 10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間	2025年 11月 10日 ~ 2025年 12月 10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 25日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援プログラムの充実【継続/強化】	<ul style="list-style-type: none"> 年間支援計画に基づき月・季節ごとの、プログラム変更 発達段階・特性による、小グループ支援 グループダイナミクスに働きかけたメンバー組み換え支援 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察等を通じた対応の充実 対人スキルのスマーリステップアップを図るための情報の共有化
2	特性に合わせた支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> 環境設定：発達段階に合わせた構造化(場所/時間/人/活動) チーム療育での支援 子ども自身の体調等や園行事を考慮したきめ細やかなスマールグループ対応 	<ul style="list-style-type: none"> 1人1人の発達段階に合わせた環境の微調整や成長に伴う随時対応 協力/協調/共同に留意した社会性(対人スキル レジリエンスなど)
3	根拠ある支援	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントに基づいた支援 フォーマルアセスメント/インフォーマルアセスメントの併用 コンサルテーションなどを活用した支援 	<ul style="list-style-type: none"> 特性を把握し、本人、家族、各機関と連携し続ける 新しい知見を取り入れた視点の導入

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の経験や知識等の差【継続】	<ul style="list-style-type: none"> 基礎知識(保有資格)と幼児療育の経験年数 専門知識や研修 職員配置 特性に合わせた時間帯設定と支援内容の充実 特性の共通理解と一貫性ある対応ため、日々実施するミニカンファレンス 	<ul style="list-style-type: none"> 研修内容の見直しと充実による資質向上 毎日のミーティングの継続と情報共有 チーム療育による支援の充実(PDCA/魅力ある職場環境)
2	・人口減少・少子化・高齢化という地域性を踏まえた運営【継続】	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉における児童発達支援の位置づけの弱さ 社会資源が限られている点 	<ul style="list-style-type: none"> 行政等との連携の強化と社会的資源の開発などの地域課題を発信していく 自立支援協議会の活用と連携
3			